

不申候。爲其如此御座候。以上。

何月何日 内書 誰 判 印

碓氷御關所御番衆中

但、此紙面は中廣か並杉原か半切にして調遣、御家中より長荷物遣候節も調遣候事。

一、同役江戸參着之砌改め、横川御關所過番連判印仕、一通相達申事。

一、御家中之面々碓氷御關所過番取に指越候はゞ、侍組に候得者直番付申出候而、過番相渡申候。與力・御歩等は、過番取に會所へ罷出候而請取申候。尤番付も持參仕候事。

一、過番調様別帳に有之通調候。上下二人より之者は相越候と調候格に而、足輕・小者何十人御國へ罷越候而茂、指遣候御關所無異儀と相調申候。此外文言同事に候。會所物警役有合不申時分は、殘番御算用者相調申管之事。

六 八丈嶋宇喜多氏一類へ 被遣物覺

- 一、百五十八切 一步
- 一、十三端 染物絹表
- 内、一端花色小紋五所紋、七反花色無地五所紋、五端女中向伊達模様。
- 一、十三端 同裏絹淺黄染
- 一、二十一 染かたびら
- 内、一つ花色小紋五所紋、八つ花色無地五所紋、六つ女中向伊達染、六つ明石染。
- 一、十七端 染木綿表
- 内、十一男向、六端女向。
- 一、十七端 裏淺黄木綿
- 一、十七筋 上帶
- 内、十二筋男帶地織、六筋女中向さあや。
- 一、二十二筋 布三尺染手掛
- 内、十三筋男向、八筋女中向。
- 一、二十端
- 内、十端小紋染、十端淺黄染。
- 一、十 疋 白中木綿

一、二十把 中綿

内、十把羽綿、十把摘綿。

一、二十二筋 染たぐり

一、十 本 扇子

内、五本男向、五本女向。

一、六 本 小刀

一、二 挺 小刺

一、二 挺 はさみ

一、六百目 撰糸

一、六百目 白苧

一、六 斤 煎茶

一、三十束 下中折

一、三 挺 墨

一、十 對 筆

一、三 香合 牛玉圓

一、三 包 西大寺

一、三 包 虫ぐすり

一、三 包 腹留藥

二十六口

右申の三月十一日八丈嶋御代官山田治右衛門殿へ、聞番井上吉郎左衛門右品々爲持罷越候。萬籠二つに入爲持參、治右衛門殿に而一箇に認候。指札も指遣之。會所小遣兩人召連罷越認候由。此認料左之通。

一、一貫二百目 中白苧

一、 一、りうきう御座

一、 一、大唐油紙

一、 一、大澁紙

一、三十抱 中青小繩

一、二 一、大葛籠

右品々御代官請取切手は聞番見届、此方に請取、棟取に渡置也。

一、右入用申箱上番御祐筆中調、御用人見分。上番左之通。

浮田源助様

同 中平様

同 半平様

奥村伊豫守

横山大和守